

授業だより No. 4

押水第一小学校
令和5年 7月14日

すみれ研究授業 国語科 『たのしいな、ことばあそび』（授業者 松本）

7月6日（木）に研究授業を行いました。授業後には、授業整理会、中能登教育事務所の竹下指導主事からの指導助言がありました。

【授業整理会～各グループの話合いより～】

視点1：友達と対話し、課題を解決するために、イラストや写真、または動画を用意し、絵や写真と言葉を結びつけ語彙を増やせるようにする。

A 重点：問題を解決する場の充実

成果	課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> 一つの言葉の意味を丁寧に説明していくことで、興味を持って聞く姿や、疑問を解決していくための質問の場が充実した。 ヒントカードやイラストから言葉づくりを始めることができていた。教材の準備。 様々な言葉を様々なヒントで具体的にさせていた。 動きを取り入れてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 答えがなくても、発音の練習や書く機会を大切にしたい。 2人で協力する場面が多く見られた。 ICTを使った学習・わかりやすい視覚教材準備。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいとするところの言葉はなかなか出てこない。たくさん言葉を覚えたという充実感を児童自身も実感できていないと感じた。例えば、橋本の言葉の読み取りで、たくさん読んだねと励めるなど。 橋本さんのおもしろい登場（意図的）につくる。 ナイス！いいね！などの声かけ（励まし）

B 重点：問題を解決する場の充実

成果	課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> 読み火と僕の動画は良かったのではないかと。 「早退」の取り上げ 「そうたい」の取り扱いは良かった。 児童の言葉を丁寧に拾っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋本にとっての評価基準「様子を表す言葉を増やす」ことができたのか。 絵を提示する際に考える。 三人で作った後に感想文を作る場面があれば良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「たいそう」「たいやき」「ごうたい」などにも文を言わせるなど、負担をかけた。 「こんな様子もあるよね」と語彙を増やすことのできる支援があるか？ 単体のイラストではなく、イラストや写真を用いている様子や何をしている様子の子のイラストがあると書き出しやすい。 近く場面（個人の活動）などを取り入れる。

視点2：その他授業全般について

A その他

成果	課題	改善策

B その他

成果	課題	改善策
音声入力の活用		

【指導助言～竹下指導主事より～】

本時の展開、対話の仕方について

- ・ヒントカードやイラストから言葉づくりをすることができていた。またイラストから実物を結びつける活動もあり、学んだ語彙を日常生活に繋げることができていた。
- ・様子を表す言葉を学習するために、文頭を指定して文を作らせたり、主語や述語に意識させて文を作らせたりする方法もあった。
- ・児童の実態に合わせて、4年生の教材「夏の楽しみ」から季節の言葉を「言葉見つけ」で扱っても良かった。

指導案について

- ・単元の目標や評価基準は、下学年の教材を扱っていてもできるだけその学年に適したものを選ぶ。また児童の実態が違うのでそれぞれの単元の目標、評価基準を明記する。